とだ 議会だより

やさしいまちに、なりたい。

3月定例会

No.200
2018年（平成30年）5月1日

待機児童ゼロに向けて大きく前進 ▶2
平成30年度予算決まる

総括質問 各派代表質問 ▶13

そこがききたい 15人の議員が一般質問 ▶16

4常任委員会の年間活動成果 提言書を提出 ▶24

▶ホームページ 戸田市議会 検索 http://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/

入園式（戸田第２すこやか保育園）

とだ議会だより No.200

平成30年度 戸田市予算マップ

待機児童ゼロに向けて大きく前進

》認可保育園6園新設
》認可定員540人拡大

★常勤保育士に対する賞与の上乗せ補助制度を創設
★保育士等の子どもの保育園への最優先入所の開始
★産学官協働による保育人材確保・定着化事業の実施
★幼稚園・長時間預かり保育の拡充

新たに開園
認可保育園6園

戸田第2すこやか保育園（中町）	120人
こだま虹保育園（新曽）	120人
つくし保育園（上戸田）	90人
みんと保育園（南町）	90人
ココファン・ナーサリー戸田公園（本町）	60人
グローバルキッズ戸田駅前保育園（新曽）	60人

※アクションプランでは、平成31年4月は約385人の受け入れ枠拡大を予定。

平成30年度 予算決まる

一般会計	503億円	0.5%増
特別会計	231億円	12.2%減

平成30年 3月定例会

2月1日～3月12日

3月定例会は市長選挙の関係で繰り上がり、2月1日から3月12日までの40日間の会期で開かれました。冒頭の役職改選におきまして、議長には三浦芳一氏（公明党・4期）、副議長には細田昌孝氏（みらいの会・2期）を選出。また、議会選出の監査委員として馬場栄一郎氏（みらいの会）を選任する議案に同意しました。

そのほかの議案では、市長提出議案45件と、議員提出議案2件が提出され、いずれも可決・同意しました。また、7議案に対し延べ20人の議員が質疑し、議案4件に対し、延べ8人の議員が討論を行いました。

市長施政方針に対する総括質問では、会派を代表して5人の議員が質問を行いました。また、4日間にわたる一般質問では、15人の議員が活発な論戦を展開しました。

主な議案

学校運営協議会委員の報酬及び旅費に関する条例

学校運営協議会とは、学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関のことをいい、地域住民や保護者等で構成されるもので、コミュニティ・スクールの中核をなすものです。この、新たに設置する学校運営協議会委員の報酬及び旅費の支給について条例を制定するものです。

質疑

Q 学校運営協議会とPTAとの違いは。

A PTAは、当該学校における保護者と教職員による組織であり、児童生徒や学校のために、さまざまなボランティア活動を行っている。一方、学校運営協議会は、当該学校がある地域の方や保護者の代表などで構成される組織で、委員は非常勤特別職の地方公務員の身分を有し、学校運営の基本方針を承認することや、学校運営に関する意見を述べることができるなど、一定の権限と責任をもって学校運営に参画する組織である。

《結果》原案可決（全員一致）

高齢者総合福祉条例の一部改正

第1号被保険者の介護保険料率について、平成30年度から32年度までのそれぞれの所得に応じた段階を、改正前（第6期）は13段階であったものを、改正後（第7期）は16段階に広げて、基準額となる第5段階について、改正前の年額6万7200円から、改正後は年額6万9300円に引き上げることとしています。

介護保険料の設定に当たっては、第6期から第7期にかけて被保険者数を約1600人の増加と見込み、これを基に第7期における介護サービスの総費用を積算し、この費用を賄うための保険料を算出しています。

また、本人が住民税課税である区分のうち、第9段階以降を市独自に細分化することで、低所得者に配慮した保険料としています。

この条例は、平成30年4月1日から施行し、改正後の保険料率の規定は、平成30年度分の保険料から適用するものです。

一般会計補正予算

歳出では、障害者自立支援事業費の増額、公共施設等整備基金積立金等を計上。歳入では、市税及び市有地売払収入の増額、並びに前年度繰越金等を見込んだものです。

▲学校運営協議会準備委員全体研修会（戸田第一小学校体育館）

▼ 平成30年度予算のあらまし（千円単位は切り捨て）

■ 一般会計予算　502億7,800万円

■ 特別会計予算　231億2,507万円（10特別会計の合計額）

■ 水道・下水道事業の予算

項目		水道事業会計	下水道事業会計
収益的収支	収入	25億7,377万円	27億5,661万円
	支出	24億9,490万円	25億5,656万円
資本的収支	収入	6億4,730万円	16億3,150万円
	支出	18億3,296万円	23億4,329万円

※一般会計予算の内訳は、5ページをご覧ください

※収益的収支…水道水の供給や下水の処理にかかる収入と支出

※資本的収支…配水管や浄水施設、下水道管やポンプ場の建設更新などにかかる収入と支出

正副議長就任あいさつ

議長　三浦（みうら） 芳一（よしかず）

副議長　細田（ほそだ） 昌孝（まさのり）

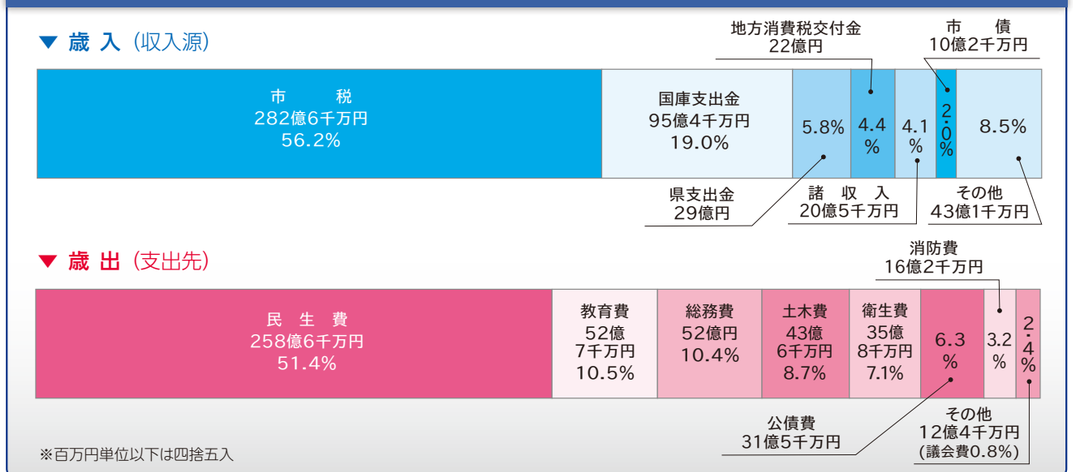
市民の皆様には、日頃から市議会に対し、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長の要職に就かせていただくことになりました。身に余る光栄と存じますとともに、その任務と使命の重大さを深く感じ、改めて身の引き締まる思いでございます。

本市においては、人口増加が続き、行政需要が拡大する中、多くの課題が山積しております。

今後も皆様の声にしっかりと耳を傾け、議員一丸となって全力で課題解決に取り組み、市の持続的で充実したまちづくりに寄与できるよう努力してまいる決意でございますので、ご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

【一般会計予算　502億7800万円の内訳】



※百万円単位以下は四捨五入

討論　高齢者総合福祉条例改正《結果》原案可決（賛成21 対 反対4）

花井　伸子（はないのぶこ）議員

反対

介護保険料引き下げができたのではないか

今回の改定は、保険料の負担を細分化し抑える努力をされたが、基準額は2,100円の引き上げとなった。そもそも第6期で大幅な値上げがされ、埼玉県内市で一番高い保険料となっていた。委員会審査において、各保険給付費の見込み額が過大であるのではないかとの指摘に対し、国から具体的提示がある前に立てた予算であり、若干多めに見込んでいるとのこと。また、一番の問題は国からの調整交付金を平成29年度2.55%であったものを30年度予算では1%しか見込んでおらず、実際には2.5%の交付金が来ること、額にすると8,700万円の差があるという答弁だった。第6期保険料は前期不足分の県からの借入金の返済額が保険料に上乗せされている。借入金は完納していることからも、4,500万円の第7期保険料は全く上げる必要はなく、むしろ、引き下げることができたのではないか。

高齢者の暮らしを応援し元気で生き生きとした高齢期を過ごすことのできる総合福祉となるよう要望し、反対討論とする。

山崎　雅俊（やまざきまさとし）議員

賛成

さまざまな配慮がなされた介護保険料の設定

改正に当たって、介護保険料の上昇を抑えるために８割の基金の取り崩しを想定していることや、低所得者の介護保険料に配慮した所得区分の調整など、執行部は可能な限りの工夫と努力を行っている。

また、今後戸田市においても、高齢化の進展とともに介護給付費の増大は避けることができないことや、前期の介護保険料の設定において、想定以上の介護給付費の伸びにより、基金の蓄えができず、さらに県からの借り入れにより、介護保険料の急激な引き上げを余儀なくされた経験が生かされている。

本改正案における介護保険料の設定は、さまざまな配慮が十分になされた適正なものであると考え、賛成する。

討論　一般会計補正予算《結果》原案可決（賛成21 対 反対4）

本田　哲（ほんだてつ）議員

反対

年度途中で生まれた27億の余剰金市民に還元を

公共施設等整備基金に、21億円を新規に積み立てると、総額39億円となる。今後の公共施設の改修、修繕、長寿命化や建て替えなどのために、積み立てを行うことは必要と考えるが、自治体の仕事は、公共施設の維持・管理だけではない。一番身近な自治体として、市民の暮らしを守ることも重要な仕事であり、バランスの取れた税金の使い方が重要である。21億円の一部を使えば、介護保険料の引き下げなど、さまざまな市民要求に十分に応えられたと考えることから、市民に還元すべきであった。

財政調整基金に、６億円を新規に積み立てると、総額49億円となる。財政調整基金は、財源の調整、大幅な税収減、災害の発生等の思わぬ支出に備える基金であることは承知しているが、年度途中で生まれた余剰金を基金に積み立ててしまうことは、少しバランスを欠いている。市民生活が苦しさを増している中、基金に積み立てる補正予算に反対する。

榎本　守明（えのもともりあき）議員

賛成

市民サービスの継続を図るため基金への積み立ては必要

公共施設等整備基金については、今後、より厳しい財政運営となることが見込まれ、また、公共施設等の老朽化が進む中、施設等の長寿命化を図りながら、計画的に更新を行い、将来にわたって、安全かつ適切に市民サービスを継続していくための財源として、当該基金への積み立ては必要なものと考える。

財政調整基金費の積立金についても、平成30年度当初予算においては、今回の補正予算での積立額を超える、10億7,700万円の取り崩しを見込んでおり、今回、新規積み立てを行わない場合、財政調整基金残高が減少し、今後の市民サービスの継続や、災害時等に必要となる財源確保に大きな支障を来す。本市は普通交付税不交付団体であり、市税の減収分が、そのまま歳入の減少に直結するという特徴がある。

市税が減収になった場合や、災害時等における影響を抑制し、市民サービスの継続を図っていくためには、適正な基金の維持が不可欠であり、賛成する。

一般会計予算

※2・3ページの予算マップ、5ページの一般会計予算の内訳参照。

質疑

Q 子どもの実態把握調査・分析業務について、事業の目的、対象者、実施方法は。

A 本事業は、子ども及び子育て家庭に対し、子どもの生活習慣、日常生活、学校生活の状況、世帯の経済状況などについて、その実態を把握するためのアンケート調査を行う。その調査結果により、支援ニーズを把握し、既存の施策や今後必要となる施策の分析を行い、施策体制を構築するなど、今後の子どもの貧困対策も含めた総合的な子ども・子育て支援施策を進めていくものである。

対象者は、ゼロ歳児がいる世帯の保護者、小学5年生及び中学2年生の子どもとその保護者。未就学児世帯へは郵送、就学児世帯へは学校を通して、アンケートの配付及び回収を行う予定。実施時期は、9月以降を予定。

Q 119番通報等に係る電話通訳業務の概要は。

A これは、日本語が全く話せない外国人からの119番通報に対応するための業務。日本語を話せない外国人から119番通報が入ると、その電話を電話通訳センターへ転送することで、外国人通報者と消防と電話通訳センターの三者がつながり、外国人通報者と消防のやりとりを同時に通訳してもらう仕組みとなっている。通訳業務は、24時間、365日対応で、対応言語は、最低限必要とされる英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語の5カ国語とし、その他の言語については契約先の対応可能言語としている。

Q 英語検定受検費用助成事業の英検Jr.GOLDとは。

A 小学校での英語学習経験が3年間から5年半程度の児童を対象にした、英語を聞き取る力を測るテスト。本市では小学1年生から英語学習に取り組んでいることから、受検対象は小学6年生全児童とし、各学校で受検する。テストは、英語を聞いて正しいと思うイラストなどに丸をつけるもので、児童にとって解答がしやすいテストとなっている。

本事業の実施により、昨年度から実施している中学3年生における英検3級費用の助成事業へ計画的につなげ、全ての生徒が中学校卒業までに英検3級以上を取得できるよう、今後も、戸田市の英語教育の充実を進めていく。

Q 戸田第一小学校を改築する判断に至った理由は。

A 平成26・27年度に築45年以上経過した公共施設について建物健全度調査を行った結果、おおむね10年以内に建て替えた方が良い4つの学校のうちの1つに戸田第一小が該当していた。公共施設再編プランの中では、平成35年度に供用開始の予定。

国民健康保険特別会計予算

《結果》原案可決（賛成21 対 反対4）

介護保険特別会計予算

《結果》原案可決（賛成21 対 反対4）

※介護保険料の引き上げについて意見が分かれました。

【人事案件】

教育委員会教育長

戸ヶ崎　勤氏（再任）

《結果》同意（全員一致）

▲119番通報を受ける消防指令センター

討論　一般会計予算

《結果》原案可決（賛成21 対 反対4）

峯岸（みねぎし）　義雄（よしお） 議員

賛成

戸田東小中の改築等工事は現在の計画どおり進めるべき

①収納事務費のうち、カウンターや電話機で使用する録音機器購入については、いわゆる「言った言わない」などの事後の紛争への対応が可能となることから、担当者だけでなく相談者の主張の正当性も証明することが可能となる。録音をすることに違法性はなく、パスワード設定により個人情報の保護を図るなど、運用基準が定められることから、適正な運用がなされるものと考える。

②戸田第一小学校は公共施設建物健全度調査の結果、おおむね10年以内に建て替えた方が良い４校のうちの１校であり、公共施設等再編プランに基づき計画的に建て替えを行うことが、財政的な面を考慮しても良い選択であると考える。児童数に必要な教室や、敷地全体の中での校舎の配置、仮設校舎の位置や規模の検討など、建て替え中の課題を早くから検討していく姿勢は、高く評価されてしかるべきである。

③戸田東小学校・戸田東中学校改築等工事は、既に議会の議決を経て進めてきているものであり、平成33年４月の開校は、校舎の老朽化、急激な児童生徒の増加に伴う教室不足の解消、給食の提供数の不足、小・中学校同時建て替えによる工事における施工効率やコスト削減、近隣する小・中学校の敷地の有効活用などの理由から総合的に判断したものであり、現在の計画どおり進めるべきであると考える。

④図書館管理運営費の賃金については、大規模設備改修工事に伴い、平成30年７月から本館を休館するため、年度当初から人員を３分の１とし、減額した。業務が大幅に縮小されることからやむを得ないことであり、賃金の減額は妥当である。

⑤西部及び東部福祉センターの使用料については、受益者負担の考えに基づき、利用者からの公平な負担をお願いするため、使用料の減免廃止による増額見込み分を含めて算定されたものであり、適正な計上である。

以上、賛成討論とする。

▶戸田東中学校

本田（ほんだ）　哲（てつ） 議員

反対

市民の声をしっかりと捉えバランスよく予算措置が行われるべき

①納税相談でのトラブルに備えるため、録音機器を新規に購入するとのことだが、購入前に、なぜトラブルが発生するのか、どこに問題があるのか十分に検証し、トラブルを生まない納税相談に改善することが必要。

②戸田第一小学校の建て替えが、児童数1千人を超え大規模校となる時期に始まることは、子どもたちの教育環境に大いに支障を来すと考える。このような時期の建て替え計画に反対をするとともに、この計画が、公共施設再編プランによって進められている点についても反対する。

③戸田東小中・一貫校化の反対理由は、平成34年度をピークに児童数が減る可能性があり、中学校の空き教室利用やプレハブの設置で教室不足が補えること。また、給食の食数不足は、神保市長の公約通り新曽小学校に単独校調理場を建設すれば解決することができる。総工事費用が60億円から80億円に膨れ上がり、一体で建て替えれば費用が抑えられるという説明が崩れている。再度、別々に建て替えることを検討すべき。そもそも、子どもたち、保護者、地域住民、学校関係者と一緒になって検討していないことが最大の問題。戸田東小中学校の拙速な建て替えは、改めて再検討を強く求める。

④図書館の指定管理は一番ふさわしくないと警鐘が鳴らされている。このような中、大規模改修を理由に、長年、働いてきた12人を４人に削減することは、図書館の指定管理を前提にした削減であり、労働者の生活と権利を守る市役所がやるべきことではない。

⑤西部及び東部福祉センターの使用料の増額見込みは、条例改正により、212の登録団体が減免制度を受けられなくなったことに伴うものであり、反対する。

安定した市税収入で２年連続500億円超えの予算。その上、80億円という戸田東小中学校の建て替えを実施しようとしている戸田市のどこが財政が厳しいのか。この豊かな財政を生かしてバランスよく、予算措置が行われるべきであったと考え、反対討論とする。

▶戸田東小学校

討論　国民健康保険特別会計予算

《結果》原案可決（賛成21 対 反対4）

山崎（やまざき）　雅俊（まさとし） 議員

賛成

国保広域化、税率見直し、保健事業等を反映した予算は妥当

国民健康保険は、高齢化や高度医療の普及などにより医療費が増大している中で、本市はこれまで、県内でも突出した一般会計からの法定外繰り入れの実施により、加入者の負担軽減に努力をしてきた。

しかしながら、平成30年度より国民健康保険が広域化され、県と市町村による共同運営に移行することとなり、県から提示された納付金を賄うため、12月議会において、執行部から税率改正の提案があり、審議の結果、今回の予算に反映された新たな税率を議決した。市からの一般会計繰り入れを解消していくことは、市の財政運営や税の公平性の観点からも避けることのできない課題である。

したがって、国民健康保険の広域化、税率の見直し、保健事業等を反映した平成30年度国民健康保険特別会計予算は妥当であると考え、賛成する。

花井（はない）　伸子（のぶこ） 議員

反対

国保問題の解決に最も必要なことは国庫負担金を増やすこと

国民健康保険税は、昨年12月議会に引き上げられ、所得２００万円の夫婦２人子ども1人のモデル世帯で、年間約４万円の大幅値上げがされた。県からの交付金は77億円、市の納付金は42億円と、市の国保会計の負担は大きく軽減されることを考えれば、平成30年度からの国保税の値上げは必要なかった。

戸田市の特徴として、一部の高額所得加入者が平均を押し上げ県内２番目に高くなっているが、国保加入所得世帯階層を見ると、所得なし世帯25.75%、所得２００万円以下の世帯が83.4%を占めており、生活弱者世帯が多く加入する保険である。

新制度は、被保険者の多くが低所得者であるにもかかわらず国保税が高いという構造的問題は何ら解決しないばかりか、大幅値上げでいっそう滞納者を増やす恐れがある。

国保問題の解決に最も必要なことは国庫負担金を増やすことである。国に対し国庫負担を増やすことを求めていくとともに、市町村は、今後も法定外繰り入れを維持し、高過ぎる国保税の引き下げと独自の減免制度の充実を求めて、反対する。

意見書（議員提出議案）を政府に提出

◇バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書

急速に地域の人口減少・少子高齢化が進む中で、地域の一体的バリアフリー化のニーズはますます高まっているにもかかわらず、全国の市町村においてはさまざまな事情から基本構想等の作成が進まない地域もある。政府において、全国各地のバリアフリー水準の底上げに向けて、同法の改正及びその円滑な施行を確実に実施するよう求める。

◇洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書

国土交通省は、中小河川の豪雨対策を強化するため、全国の中小河川の緊急点検の結果を踏まえた「中小河川緊急治水対策プロジェクト」を取りまとめ、中小河川の河道掘削についても再度の氾濫防止対策の一つとしてプロジェクトに盛り込んだ。しかし、この緊急治水対策プロジェクトは、おおむね３カ年の時限的措置であり、河道掘削の対策箇所も限られている。政府においては、今回の緊急治水対策プロジェクトが中小河川を管理する地方自治体にとって真に活用しやすい施策となるよう取り組むことを求める。

総務常任委員会
文教・建設常任委員会
健康福祉常任委員会
市民生活常任委員会

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。
その経過と結果は、3月12日の本会議で各委員長から報告がありました。
下記はその概要です。

総務

政策秘書室・危機管理防災課・総務部・財務部・会計課・消防・行政委員会事務局等
※各常任委員会の所管部署

庁舎2階、市民課前の階段を撤去へ

【30年度予算】

財産管理費では、市民課前の階段撤去等の工事について、執行部から、9月から11月ごろを予定しており、その間、足場を組む予定だが、市民課などへのアプローチは確保するとの答弁がありました。

企画費では、庁舎案内等検討業務の内容について、執行部から、市民課前の階段撤去に伴い、2階、3階のサイン表示やカウンターの案内・誘導効果の充実に向けた検討を行うとの答弁がありました。

電子計算費では、住民情報システム総合窓口機能拡充業務の内容について、執行部から、転居など、住民異動に関する手続きの際、どの窓口に行く必要があるかを案内するための機能があるが、そこに介護保険などの資格情報を追加するほか、住所、氏名、生年月日等を印字した状態で申請書類が出力できる機能を追加するとの答弁がありました。

▲撤去が予定されている市民課前の階段

文教・建設

都市整備部
教育委員会

戸田第一小学校の建て替えにおける基本計画は

【30年度予算】

防災費では、昭和56年以前に建築された住宅の耐震診断及び改修を行った場合、費用の一部を補助する事業について、どのように周知を行っているかとの質疑があり、執行部から、ホームページへの掲載や、年2回から3回の広報への掲載、窓口にパンフレットを置くなどして周知しているとの答弁がありました。

防災費では、防災行政無線の放送内容が受信できる防災ラジオについて、執行部より、防災行政無線が聞こえづらい地域も含め、市内全域に周知するとの答弁があり、委員からも、周知の徹底を求める要望が出されました。

小学校費の学校建設費では、戸田第一小学校の建て替えに向けて、基本計画策定業務等をどのように進めていくかとの質疑があり、執行部から、子どもたちにとってより安全で、かつ、安価な建設方法や配置を考え、学校建て替え準備委員会の了解を得ながら基本計画を策定していきたい。また、敷地に余裕がなく、場合によっては学校敷地外の地域資源を活用することも想定されるため、関係者や地域の人の声を聴きながら設計を進めたいとの答弁がありました。

小学校費及び中学校費の学校建設費では、戸田東小学校・戸田東中学校の建て替え工事中の授業への影響について質疑があり、執行部から、できる限り低騒音で、工事エリアとの境に間仕切りを設置するなどの配慮をした設計を考えているとの答弁がありました。

▶戸田第一小学校

健康福祉

福祉部・こども青少年部
福祉事務所
市民医療センター

増大する介護給付費に対応する介護保険料の改定

【高齢者総合介護福祉条例の一部改正】

被保険者数が増加し、介護保険料収入は増加していることから、介護保険給付準備基金積立金取り崩しの増額による、介護保険料増額改定の抑制が可能ではないか、との質疑があり、執行部から、被保険者全体の高齢化により、介護給付費は増大している。これまで積み立てた基金を8割取り崩して、介護給付費の急激な増加に備えた増額改定となっているとの答弁がありました。

▶介護保険サービスを提供している健康福祉の杜

【30年度予算】

高齢者福祉費では、敬老のつどいの今後の開催手法について質疑があり、執行部から、平成29年度の手法で3年間開催した上で検証を行い、見直しを検討していく必要があると感じているとの答弁がありました。委員からは、来場者以外のさまざまな方々の声に耳を傾けてほしいとの意見が出されました。

児童福祉運営費では、各保育施設に空きがない現状における改善策がないか質疑があり、執行部から、一時保育利用等の相談対応や新設保育園に4・5歳児の枠に空きがある場合などには、乳児の枠に振り替えることができないか検討するなどして対応していきたいとの答弁がありました。

市民生活

市民生活部・環境経済部
上下水道部

市民の声を反映した今以上に盛り上がる戸田ふるさと祭りに

【30年度予算】

行政振興費では、戸田ふるさと祭りは本市の一大イベントなので、市民の声を反映し、新しい企画を取り入れるなど、今以上に盛り上がる祭りにしてほしいとの意見がありました。

コミュニティセンター費では、笹目コミュニティセンター（コンパル）天井改修工事の今後のスケジュールについて質疑があり、執行部から、7月上旬に開催するコンパルまつりの終了後から12月ごろまでの期間で工事を実施する予定であるとの答弁がありました。

観光費では、2020年の戸田橋花火大会の開催について質疑があり、執行部から、東京オリンピック開催期間中に花火大会を開催することは難しく、30年度中に今後の方向性を決定したいとの答弁がありました。

交通安全対策費では、市内3駅の自転車駐車場の利用率について質疑があり、執行部から、天候や時期等によって利用状況は異なるが、駐車場全体の利用率は平均で約8割弱であるとの答弁がありました。これに対し、指定管理者のノウハウも活用し、利用率をさらに上げていき、収益の確保につなげてほしいとの意見がありました。

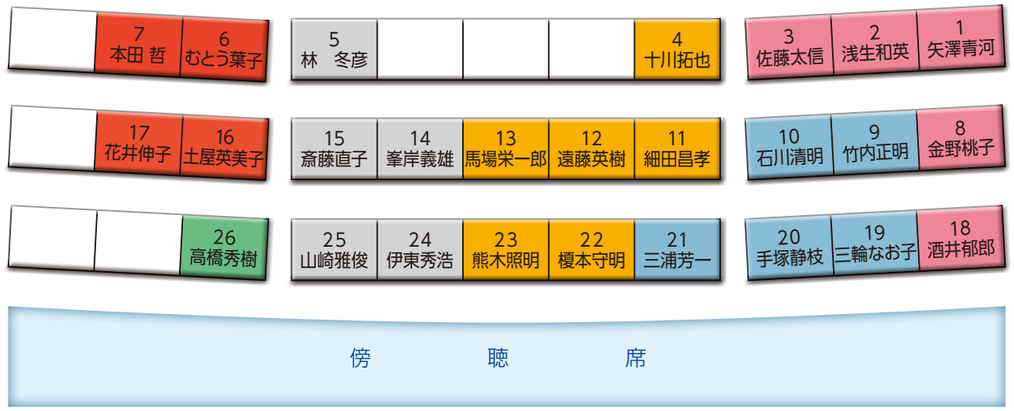
▶昨年の戸田ふるさと祭り

会派及び議席の変更

2月1日付で、会派「みんなでまちづくり」の遠藤英樹議員が「みらいの会」に加入しました。
2月1日現在の会派構成は下記のとおりです。

- みらいの会　6人
- 公明党　5人
- 日本共産党戸田市議団　4人
- 平成会　5人
- 戸田の会　5人
- 無所属　1人

議席も下図のように変更になりました。



《議員研修会を開催》

平成30年1月19日に、広報コンサルタントで、全国町村議会議長会の議会広報表彰審査会委員であります芳野政明氏をお招きして、「～市民に読まれ　議会活動が伝わる～議会広報の基本と編集のポイント」と題して、全議員を対象に研修会を開催しました。

市民に審議の内容が伝わるまでが議会の仕事である。また、広報委員会で議論して編集方針をつくり、それを目標に、理想に近づける編集をすることが大事であるなど、伝える広報から伝わる広報にするための、大変有意義な研修会となりました。

特別委員会設置

議会改革特別委員会では「特別委員会のあり方」について検討を重ねてきました。

その結果、下記の3つの委員会を設置することに決定いたしました。

正副議長を除く議員は、3つの特別委員会のいずれか1つに所属することとし、また、議長は議会改革特別委員会に、副議長は議会広報委員会に出席することになりました。

	まちづくり・交通対策特別委員会	議会改革特別委員会	議会広報委員会
委員長	熊　木	酒　井	手　塚
副委員長	石　川	高　橋	榎　本
委　員	浅　生 十　川 峯　岸 斎　藤 土　屋 花　井	本　田 金　野 遠　藤 馬　場 三　輪 山　崎	矢　澤 佐　藤 林 むとう 竹　内 伊　東
その他		三浦(議長)	細田(副議長)

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表制質問のことです。

今定例会では、2月16日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをただしました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要です。総括質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。総括質問の模様は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

▲美笹の桜

20年を振り返り市長の自己評価は

「市民のご支持をいただけた」

平成会　伊東（いとう）秀浩（ひでひろ）　議員

議員　5期20年を振り返り市長の自己評価は。

市長　片時も初心を忘れず、常に戸田市の将来を考え、市政運営に邁進してきた。自治体ランキング調査等で高い評価を得るなど、選ばれる自治体として着実に歩みを進めている。このような実績を評価していただき、ご支持いただけたものと思う。

待機児童緊急対策は

議員　緊急対策アクションプランの取り組み状況と実績、達成見込み、保育士アンケート調査の結果と対応は。

市長　平成28年度中に25人、平成29年4月に約240人、本年4月には認可保育園6園を開園、認可定員540人の拡大を図り、平成31年4月には、さらに約380人を拡大し、待機児童の解消を目指す。保育士アンケート調査では、市内で働き続けたいと答えた人は過半数を超え、さまざまな施策により保育人材確保と定着化を図る。

▶新宿アルタビジョンで保育士募集PR動画を放映

認知症対策の推進は

議員　初期集中支援チームの支援内容は。

市長　市民医療センターと戸田病院の2カ所に設置し、医療・介護の専門職・医師でチームを編成し、適切な支援につなげていく。

戸田市への期待は

議員　今後の戸田市への期待は。

市長　市民の誇りが高められ、誰もが憧れる都市になるものと期待している。

公共施設の老朽化が進む中 改修等の計画は

「公共施設等総合管理計画を策定」

みらいの会　熊木（くまき） 照明（てるあき）　議員

議員　子育て世帯が多く「子育て・教育」に力を注ぐ本市にとり、待機児童対策など子育て支援予算は必要である。市民ニーズをしっかり捉え、取捨選択により既存事業を見直し、さらなる市民サービス向上を期待する中、本市において築30年を超える公共施設が7割を超えるため、維持・管理に多額の財政投資が必要と思われる。今後、計画的かつ効率的な更新・長寿命化を図る必要があるが、「公共施設等総合管理計画」に基づく「公共施設再編プラン」が策定される中・長期的展望指針の中で、計画やプラン実現に向けての取り組みは。

市長　多くの施設で老朽化が進んでおり、計画的な改修や建て替え、再編などを行う必要がある。「公共施設等総合管理計画」を策定し、各施設の再編過程を年次計画に示し、再編事業を進め、改修も中・長期保全計画に基づき実現していく。

▶建て替えが予定されている戸田第一小学校

県と共同での結婚支援事業の内容は

議員　人口減少問題を考える上で、未婚率の上昇、晩婚化が進む中、結婚を望む男女を支援することは、出生率の引き上げにも期待できるが、県と共同での支援事業内容は。

市長　県内に「出会いサポートセンター」を設置し、登録者のニーズに合ったマッチングシステムによりパートナー探しを行う。より効果的な少子化対策が期待できる。

情報伝達・地域防災力 強化への取り組みは

「被害を最小限とする強化を図る」

公明党　手塚（てづか） 静枝（しずえ）　議員

議員　防災・減災対策は「待ったなし」「地域から犠牲者を出さないこと」これが防災である。近年、豪雨災害による甚大な被害が多発し、今後も想定を超える気象災害の発生が予測される。地震・水害等、自然災害に立ち向かう情報伝達体制の強化と地域防災力の強化がさらに必要である。取り組みは。

市長　被害を最小限とするため、情報を迅速かつ的確に伝達する体制を構築していく。また、市民の防災意識の向上と、実践的で効果的な防災訓練を推進し、さらなる地域防災力の強化を図る。

地域支え合いの構築を

議員　今後、単身世帯高齢者が増加する中で、地域で支え合う仕組みづくりを、どう構築していくのか。

市長　地域福祉に係る人材の育成や場の確保、総合的な相談支援の仕組みづくりに、しっかり取り組んでいく。

上部公園の運営は

議員　荒川水循環センター上部公園の開設後の運営方針と愛称は。

市長　周辺住民の意見を聞き、市で直接管理を行う。愛称は考えていないが、利用していく中で考える。

▶平成29年7月九州北部豪雨（出典：国土交通省九州地方整備局）

いじめ根絶に向けて

議員　いじめを匿名で通報できるスマートフォン専用アプリ導入の検討を。

市長　他自治体の試行事例を研究していく。

公共施設の再編は市民に選択を委ねるべき

「情報を市全体で共有し適切に進める」

日本共産党戸田市議団　花井（はない） 伸子（のぶこ）　議員

議員　戸田市公共施設等総合管理計画・再編プランにおいては、施設の指定管理化、複合化後の跡地売却という点が示されている。公共施設は市民が築き上げた市民の財産である。複合化後の跡地は、売却ではなく、有効利用すべき。指定管理化は、9年間で「指定取り消し」が6823件にも上る。特に指定管理にふさわしくないといわれている図書館の指定管理はやめるべき。国の言いなりの公共施設再編は見直し、市民に十分な情報を提供し、選択を委ねるべき。

市長　公共施設等の維持更新は、中・長期的な視点で、全ての公共施設に目を向けた視点の中で、一体的に検討されるべきもの。「公共施設等総合管理計画」や「公共施設再編プラン」はそのための基本となる計画。情報を組織全体、市全体で共有しながら、適切に進展させていく。

▶戸田市立図書館全景

図書館改修時の夏休み中の開館を

議員　7月からの本館の休館に対し、利用者の多くから工期短縮による「夏休み中の開館」と「学習室の確保」を求める要望がある。

市長　工事期間は設計段階で、工事の内容や工程等を十分に精査し、効率的に施工できるよう計画したもので、短縮することは考えていない。学習室の代替措置については、場所を確保できるよう前向きに検討していく。

医療センター経営改善に向けた抜本的戦略を

「案の通りにいく」

戸田の会　酒井（さかい） 郁郎（いくろう）　議員

議員　「市民医療センター経営改革プラン（案）」に経営改善への具体策はなく、目標設定も数合わせだ。予算1千万円弱での外部委託は疑問。また以前から民間委託等の導入検討対象とされており、28年度末をめどに運営主体の決定を行うことになっていた。決定を6年以上先送りする本計画からは経営改善の意欲はなく、前の5年間の計画期間をなぞる可能性が極めて高い。以下提言する。①経営改善に向けた抜本的な戦略の提示②医療センターが果たすべき役割の再検討③目標数値の再検討と、可能な限り早期に運営主体を決定。

市長　案を変更する必要はない。原案通りでいく。

戸田第一小学校の建て替え

議員　進行中の戸田東小中の建て替えは、保護者や周辺住民と一体の計画とはいかず、議会からも、準備期間を十分に取り、周辺住民にも配慮した施設とするべきだったという意見が出た。建て替えは50年に一度の大事業。戸田第一小学校は、教育上の使い勝手や周辺住民の利用、児童数の増減等、十分配慮したベストな校舎を。

市長　もろもろ準備委員会にて検討していく。

区画整理事業の法令違反

議員　市の道路築造により建築基準法違反となった事案。是正のため7億円以上が計上されたが、問題の全容や進捗等、いまだ公表されない。

市長　公表は事案の性質上、困難。再発防止等については、適宜対応していく。

▶市民医療センター外観。本年度は5億円以上の繰り入れ（赤字補てん）が計上されている

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。
今定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要で、質問者本人が執筆しております。
なお、一般質問の模様は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

平成30年3月12日撮影

そこがききたい

子育て支援

学校給食費を無償化し、負担軽減を

「質と安全性維持のため給食費徴収」

むとう 葉子（ようこ） 議員

議員 学校給食法において、食育は教育の一環として位置付けられている。教育の無償化は国でも検討課題であることから、学校給食費を無償化し、負担軽減を。

議員 第3子以降、多子世帯に対する無償化についての考えは。

教育部長 事情によっては、就学援助により全額無償となるため、補助は考えていない。

▶学校給食で食育推進！！

福祉部長 ②65歳以上の高齢者は一部補助を行っている。助成対象の拡大は、ワクチンの供給量不足の恐れがある。

議員 重篤化しやすい65歳以上と15歳未満の子どもを対象に負担を軽減しては。

福祉部長 予防接種することで重症化を抑える効果があるとされているが、さらなる財政負担が毎年発生するため、慎重に検討したい。

インフルエンザ対策の充実を

議員 インフルエンザが大流行している。①学校では加湿器と消毒液の設置を②予防接種の補助金の充実を。

教育部長 ①加湿器や消毒液の設置は、管理の面で教員の負担が大きい。手洗いやうがいを徹底し、感染拡大を防ぎたい。

教育部長 本市の給食費は県内で最も低額である。給食の質と安全性を維持するため、適正な給食費を徴収し、財源を確保している。

雪対策

災害級降雪への対策が不十分では

「マニュアルづくりの研究をする」

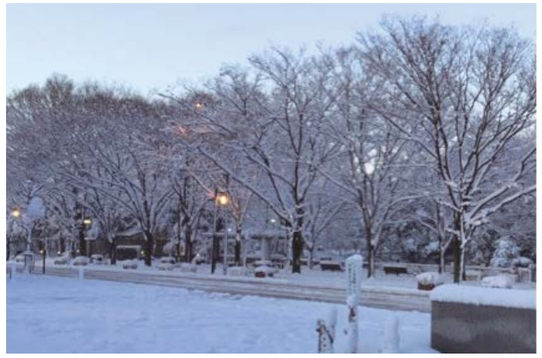
十川（そごう） 拓也（たくや） 議員

議員 1月22日から23日にかけ、数年ぶりの大雪となった。本市の被害状況は。

消防長 降雪に直接起因する転倒などの救急件数は22件である。その内訳は、骨折など中等症11件、軽症11件。

市民生活部長 交通の影響は、路線バスが最大90分程遅れ、一部欠便。交通事故は、物件事故が32件。ただし降雪が原因かは不明。

上下水道部長 水道管の凍結、破裂の問い合わせ等が274件。



▶大雪が降った後谷公園

議員 災害級降雪への対策が不十分では。

危機管理監 災害級の降雪時における市民、行政等の役割分担が明確となるマニュアルづくりについて調査研究をしていく。

戸田ボートコースでの水質浄化活動は

議員 イケチョウ貝による水質浄化活動の①現状は②自然繁殖の提案。

環境経済部長 以前は臭い、汚い、アオコ発生等で水質改善を望む声があった。①現状、貝の投入を継続し、水質が改善。透視度は、平成28年度に88・8度まで向上。近年、改善は顕著に表れ、実感できるまでになった②貝の繁殖は、幼生が魚に寄生し成長する。自然繁殖し個体数が殖えれば、より水質浄化が見込める。今後も様子を見ていく。

一般質問

情報発信

イベントカレンダーを充実させ魅力的に

「魅力的な工夫、研究していく」

浅生（あそう） 和英（かずひで） 議員

議員 情報発信について、ホームページのイベントカレンダーには載っていない行事がある。市民が活用し行事が確認できるよう、イベントカレンダーを充実させ、魅力的にしてほしい。①運用と、今後の取り組みは②自治会・町会のイベント掲載は③市民団体のイベント掲載は④小中学校のイベント掲載は⑤tococoぷりとの連携は。

身近なまちの情報を
地域のみんなに届けて
人と人とがつながるまちへ
スマートフォンアプリ
tococococococ

目指すまち

戸田市が取り組む「おしゃれ」なまちとは

「つながり、楽しめるまちを目指す」

林 冬彦（はやし ふゆひこ） 議員

つぶやき
「シビックプライド」が重要なキーワード！

議員 神保市長が提唱され、戸田市が取り組む「おしゃれ」なまちとは、どんな概念か。

政策秘書室長 「外見的におしゃれなまち」より「まちの魅力を媒介にして、人とまちとのつながりが生まれ、日々の生活が充実したまち」に重点を置き、住民が都市空間を使いこなし、豊かなライフスタイルを楽しむことのできるまちを目指していく。「おしゃれ」「シビックプライド」「住民参加」を論点に、日本都市センターとの共同研究を市政策研究所が行っている。今後のおしゃれなまちづくりにつなげていくためには、主体となる利用者と、その他の客体とのつながりや、地域資源がさらに魅力的に感じられるための居場所づくりを戦略的に考えていくことが必要だとわかった。

議員 これらの研究は戸田市が県内一から暮らしやすさ全国一のまちになるために重要。今後も取り組みを進め、内容を市民に適宜情報共有するよう願う。

▶日本都市センターとの共同研究の様子

アート作品展示可能な公共空間は

議員 市民のアート作品の展示が可能な公共空間はどこか。

市民生活部長 市役所庁舎、文化会館、各福祉センターなどで展示等は可能かと思われる。詳しくは担当課に企画や事業等のご提案を。

生活困窮者支援

フードバンクの仕組みを積極的に支援すべき

「必要に応じて連携に努める」

三輪（みわ） なお子（こ） 議員

議員 フードバンクについて、本市としての活用は。

福祉部長 平成28年度から、生活困窮者支援の一環として、フードバンクから無償で食料品の提供を受け、戸田市生活自立相談センターが食料品の給付を行っている。

議員 年間632万トン発生するという食品ロス削減の対策は。

環境経済部長 買い過ぎない、食材を使い切る、料理を食べきるなど県が提唱する「食べきりSaiTaMa大作戦」を推奨している。

議員 本来食べられる食品を循環させているフードバンクの仕組みを積極的に支援すべきと考えるが、いかがか。

▶フードバンクの仕組み

環境経済部長 産業廃棄物の削減につながる取り組みであることから、県も推進している。必要に応じて連携に努める。

ハトのふん害対策は

議員 北戸田駅南側自転車駐車場においてハトのふんの落下による被害が多くなってきている。今できる対策は。

市民生活部長 利用者に注意喚起を行うとともに、随時通路や自転車に付着したふんの清掃等、対処に努めている。原因は特定されていないが、ハトの生息場所の多様化が進んだことや高架橋下の防護ネットの設置後に目立ってきた面もある。JRと、ふん害対策について協議していく。

環境衛生

家庭ごみの出し方パンフレットの改善を

「全面リニューアルし全戸配布する」

本田（ほんだ） 哲（てつ） 議員

議員 家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレットに載っていない、ごみの捨て方が分からないとの声が寄せられている。さいたま市では、20ページ構成で細かくごみの出し方を表記したパンフレットを作成している。さいたま市のように改善をし、市民に配布しては。

◀秋にリニューアルされるごみの出し方パンフレット

環境経済部長 2種類あるパンフレットのうち、小冊子版を全面リニューアルする。20ページ構成で、分別方法などはイラストを用いて分かりやすくし、平成30年度の秋ごろに8万部を作成し、全戸配布する予定である。スマートフォン等での閲覧も容易にできるよう、電子媒体も作成する。

議員 外国語への対応はどうなっているか。

環境経済部長 外国語の翻訳版も検討する。

小学校区にボールが使用できる公園の整備を

議員 小学校区にボールが使用できる公園整備を常に求めてきた。今後の整備の考えは。

こども青少年部長 青少年の広場等がない地域で、市民ニーズがあることは認識している。今後、新たな市有地等や既存施設の再整備などの事案が出た場合、関係部署と協議し検討をしていきたい。

環境経済部長 小学校区にある公園は、比較的に規模の小さい公園が多く、安全にボール遊びをするためのスペースを確保することは難しい状況にある。

バリアフリー

市役所周辺の点字ブロック設置を

「駅から市役所まで設置予定」

佐藤（さとう） 太信（たかのぶ） 議員

議員 本市においてバリアフリー環境整備を進めるために、全庁的な取り組み、各部署の連携が必要と感じている。関係当事者の声を聴く機会を設けるべきではないか。①市役所周辺の音響式信号、点字ブロック設置を②障害者差別解消法の周知や相談支援体制整備を③歩行困難な方に対する不動産情報の支援を④庁舎内のバリアフリー環境整備を⑤各部署の連携、関係当事者の声を聴く仕組みを。

都市整備部長 ①市役所周辺の点字ブロックの設置は検討する。戸田駅から市役所までは、区画整理事業を進める中で設置する予定。

市民生活部長 ①音響式信号の設置は、警察の意見も聞き検討する。

福祉部長 ②イベント等を通じて効果的な周知方法、基幹相談支援センターの設置を含め検討する③賃貸物件を探す支援は、相談支援事業者と連携して実施する⑤関係課に寄せられた相談事例や課題について情報共有する。

財務部長 ④8階トイレは、簡易式洋式トイレの設置等を検討する。

教育部長 ⑤戸田第一小学校建設に当たり、通常学級のみならず特別支援学級の保護者の意見を聞き、関係各部署と連携する。

▲後谷公園付近の点字ブロック

その他の質問

Q 介護者の夜間、心理相談の検討を。

A 実態を把握し、今後の検討課題とする。

ロケ地支援

ロケ地検索サイト等を活用して推進を

「掲載を積極的に進める」

矢澤 青河（やざわ はるか） 議員

議員 フィルムコミッション（FC）※ホームページは更新頻度や実績発信が少ない。SNS等情報発信を進めては。

環境経済部長 早期改善を目指す。撮影実績公表も、多くの媒体で実施できるよう努める。

議員 担当の水と緑の公社とFCのホームページを統合しては。フォトコンテストにインスタグラムを活用しては。

環境経済部長 統合やSNS活用等研究する。

議員 プロの撮影やフォトコンテストでロケ地の魅力的な写真を増やし、ロケ地検索サイト等を活用して推進を。

環境経済部長 写真は検討。検索サイトへの掲載を積極的に進める。

道路構造物への市の対策は

議員 ①濃い色の車止めポールが夜間視認できず危険②歩車道境界縁石の2センチの段差が車いす等の障害となる③県内で標識の倒壊によるけがや歩道橋からの幼児落下事故があった。市の対策は。

都市整備部長 ①反射テープ等の設置を検討②都市計画道路の整備では段差解消を図っている③照明灯は腐食点検を全て実施。歩道橋は事故後点検し対応した。

▶戸田市フィルムコミッション

その他の質問

Q さらなる収納対策を。

A 再来年、地方税共通納税システム導入予定。西武ライオンズとの共同事業で、口座振替促進イベントを検討。

空き家対策

空家等対策計画で利活用の推進を

「計画に位置付けた上で研究する」

石川 清明（いしかわ きよあき） 議員

議員 今後、空き家が増え続ける中、空き家バンクでのマッチングだけではなく、広い意味での利活用が必要になってくる。他市の利活用の事例も参考に、「空家等対策計画」を策定していく中で、本市の今後の空き家の利活用の推進を。

都市整備部長 市内の空き家について、適正管理と利活用に関する課題を解決するための目標や施策を定める「空家等対策計画」を策定している。空き家バンクについては、定住を希望する子育て世帯に空き家を紹介するなど、ニーズに応じたマッチングによる利活用を検討。住宅以外の用途としては、主に跡地の有効利用の促進として「空家等対策計画」に位置付けた上で、他市の事例等を参考に研究する。

議員 多岐にわたる利活用の相談にも対応し、情報提供やアドバイスもできる総合相談窓口を開設してはどうか。

都市整備部長 空き家の管理や利活用の方法についてのさまざまな相談に対応するため、不動産、建築、法律等の専門家団体と連携した相談体制を構築する。

議員 子育て世帯と親世帯が互いに支え合う近居や同居の住宅支援を導入してはどうか。

都市整備部長 近居・同居を希望する空き家購入者がライフスタイルに対応させるための住宅リフォーム費用等の助成について、空き家バンク開設に合わせた運用を考えている。

▶市役所2階で開催された「空き家リフォームプラン展示会」

一般質問

障害者就労支援

企業への働きかけや相談支援の強化を

「関係者と連携しながらやっていく」

竹内 正明（たけうち まさあき） 議員

議員 障害者雇用の現状について伺う。

福祉部長 働く意欲のある障害者は増えており、企業側も法定雇用率の引き上げなどで機運は上がっている。しかし、障害者側の希望と企業側の雇用に関する考え方などに隔たりがある場合が多く、採用に至らないといった実態もあり、双方の課題を克服していく努力が必要。

議員 企業への働きかけや相談支援を強化すべきと考えるが見解は。

福祉部長 企業が法律の趣旨や内容を十分に理解していない場合がある。法律の趣旨や法定雇用率の引き上げにより、「雇用すべき方々を雇用していただけるような働きかけ」をやっていく必要がある。同時に働き続けるためには環境整備や障害者への理解を進め、また指導に当たる人材をつくっていくことも必要である。そういう具体的な働きかけについて市がどういう支援ができるか、関係者とともに連携しながらやっていきたい。

▶戸田市立福祉作業所ゆうゆうの作業風景

特殊詐欺の対策強化を

議員 特殊詐欺の被害が増えている。防犯カメラや「動く防犯カメラ」としてのドライブレコーダーの活用などで、さらなる防犯対策の強化を。

市民生活部長 犯罪の抑止や犯人の検挙に役立つものと考える。今後は活用方法等を研究しながら、さらなる特殊詐欺防止対策の強化に取り組んでいきたい。

※フィルムコミッション（FC）……地域活性化や文化振興、観光振興を図るため、映画やドラマ等の撮影場所誘致や撮影支援を行う機関。

随意契約

長年の随意契約先と不適切な関係は

「不適切な行為はないと確信」

金野 桃子（こんの ももこ） 議員

つぶやき
クリーンな市政運営を信じています！

議員 上尾贈収賄事件で逮捕された事業者が、戸田市でも20年以上公共施設の管理業務を年間約4千万円で随意契約（見積競争、「緊急の必要」、予算見積徴取は1社のみ、落札率ほぼ100％）していたことに大きな反響があった。他施設でも同様の契約というが詳細は。

財務部長 市庁舎等10施設で予算の議決から期間が短いため見積競争による随意契約をしてきた。平成28年度から、県・政令市を参考に一般競争入札へ徐々に移行。

議員 公共調達では一般競争入札が原則。随意契約ができる「緊急の必要」は災害時等を示し、「戸田市随意契約ガイドライン」での上限額は50万円。予算見積を1社のみ徴取した契約は県内で逮捕者も出ている。随意契約の適正化・透明化を進め、事業者との交渉記録を残す等のルール化を。

財務部長 ルール化に向けて研究、検討する。

▶随意契約で建物管理を業務委託していた施設（市庁舎、図書館、福祉センター等）

議員 市長はこれらの事業者との面識や不適切な関係はあるか。

市長 全くない。公共調達は、ベストという言い方は非常に難しく、現在のやり方はベターなやり方と信じている。戸田市では不適切な行為はないと確信している。

その他の質問

Q 保育所等申請書類の簡略化を。

A 電子ファイルで書類を提供する等、簡略化に努める。

節電

公共施設の照明をLEDに

「インバーターランプ交換時に検討」

高橋（たかはし） 秀樹（ひでき） 議員

議員 東日本大震災以降、原子力発電所が稼働せず、電力需給が逼迫している。現在は火力発電が主で、地球温暖化や省エネルギー対策として、LED照明に交換も必要と思う。①公共施設の照明をLEDに②北部球場等のグラウンドの照明をLEDに。

財務部長 ①市役所は、平成30年度に2階ロビーと地下食堂スペースを交換。執務スペースは、インバーターランプ交換時に検討したい。

市民生活部長 ①スポーツセンターの第一競技場とテニスコートの照明は、大規模改修時に交換。

環境経済部長 ②北部球場は今後の改修時に検討する。

保育園等の無償化は少子化対策になるのか

議員 2020年に保育園や幼稚園の料金を無償化するという国の方針は、少子化対策か。少子化の原因は、結婚しない人の増加が原因で、男女雇用機会均等法の成立や非正規雇用労働者の増加等が大きな原因である。消費税の増税分は、国債の返還もしないと、若い人にツケを回すことになる。①市に対する財政負担はないか②無償化は少子化対策には効果がないのでは。

こども青少年部長 ①無償化に対する市の財政負担についての詳細は決定していない②子育て世代の負担軽減は少子化対策であり、幼児期の教育・保育の役割の重要性を国は掲げている。

▶保育風景

学童保育

長期休み中、平常保育以外の行事の実施を

「難しいが、内容の充実を検討する」

土屋（つちや） 英美子（えみこ） 議員

議員 学童保育室の児童は、長期休み中、平常保育以外のお楽しみ会や行事を楽しみにしている。行事など実施できないか。

こども青少年部長 費用や実施場所等、現在のところ難しいが、内容の充実を検討する。

議員 出前講座を活用すれば、費用もかからず、校庭や室内でも十分行事ができる。有効に活用しては。

こども青少年部長 指導員を交えた検討会議の中で、行事、講座について検討したい。

学級閉鎖時の対応は

議員 インフルエンザによる学級閉鎖で、罹患していない児童も入室できず、保護者が対応に苦慮している。感染拡大防止を大前提に、罹患していない児童の受け入れができないか。

こども青少年部長 感染拡大を防ぐため、罹患の有無にかかわらず、入室の受け入れは実施しない。

入室時間を早めて

議員 一日保育の入室時間は午前8時である。土曜日や長期休み中等困っており、入室時間を早めてとの要望が多い。既に実施している他自治体もある。戸田市も早急に実施を。

こども青少年部長 他自治体の状況も踏まえ、調査研究をする。

議員 あらゆる角度から検討し改善願いたい。

▶学童保育の様子（平成26年3月撮影）

横断歩道

(仮称)2号公園南側道路への設置見通しは

「公安委員会審査結果を待っている」

花井（はない） 伸子（のぶこ） 議員

議員 新曽第一区画整理地区の（仮称）2号公園の南側道路への横断歩道設置について、その後の経過と見通し、設置までの対策は、どう対応されたか。

市民生活部長 蕨警察署へ設置の要望を提出し、公安委員会からの審査結果を待っている。優先道路に歩行者や自動車に対する注意喚起、従道路にドライバーに一時停止を促す看板をそれぞれ設置した。

議員 地域から「催促して」との要望が続いている。公安委員会に再度伝え、見通しを確認してほしい。

市民生活部長 進捗状況を適宜照会している。見通しに関しては結果が出るまでしばらくお待ちいただきたい。

▲公園前の大きな交差点ですが、横断歩道もなく危険です。

北戸田ボール広場の管理改善を

議員 北戸田ボール広場は年末年始の利用ができない。日頃、忙しい親が、子どもたちとゆっくりと過ごすことができる年末年始を有効に活用できるよう改善しては。

環境経済部長 地元町会、近隣住民と調整を図り、ルールを決めてきた。管理を変える予定はない。

議員 供用開始から2年、改めて地域との話し合いの場で要望を伝え、検討してほしい。

環境経済部長 こうした声が高まって、主流になったら検討する。

教育改革

産官学民の連携による改革は

「戸田独自のカリキュラムを作成中」

斎藤（さいとう） 直子（なおこ） 議員

つぶやき：市長より自信を持って進めてほしいとエール

議員 新たな教育委員会制度が3年経過し、どのように変化したか。

教育部長 開かれた教育行政を推進する観点から会議の透明化を図っている。傍聴者の定数増や教育委員会フェイスブックも開設し、積極的に情報を発信している。本市の取り組みが文部科学省発行の提言集にも掲載された。

議員 産官学民の連携による改革は。

教育部長 学力・学習状況調査において、大学等との連携により、専門的に分析し、どのような指導方法が学力向上に効果的なのかを明らかにしていく調査研究を継続している。プログラミング教育は、さまざまな民間企業やNPO法人などと共同研究を行い、知育ロボットの活用から、本格的なコード入力によるプログラミングまで、教材選定と独自のカリキュラム作成を進めている。英語教育は平成15年に小1から取り組み、中学ではオールイングリッシュの授業が行われている。中3の英検3級受検費用を全額助成。55・9％の高い取得率。小6対象の英検も実施する予定。

議員 コミュニティ・スクール導入に向け共有すべきことは何か。

教育部長 地域の子供が「どんな大人に育ってほしいか」を共有し、知恵を出し合う有意義な制度にしたい。

▶芦原小学校におけるプログラミング授業の様子

29年度 常任委員会の年間活動成果

委員会は、議案や請願の審査のほかに、所管の範囲で調査事件を定め、市政に関する調査活動を行うことができます。本市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを決め、原則、毎月１回委員会を開催し、行政に対して政策提言を積極的に行っています。

総務委員会

公共施設へのユニバーサルデザインの導入に向けて

総務常任委員会では、年間活動テーマを「公共施設のあり方について」と定め、主にユニバーサルデザインの観点から調査研究を進めてきました。先進事例の確認や、市内公共施設の現状把握に努めたほか、議会懇談会として、市内在住外国人や障害者団体との意見交換などを行いました。

その成果として、「公共施設のあり方に関する提言書」をまとめ、執行部に提出しました。この提言書は、戸田市の公共施設のうち、不特定多数の人が利用する施設を対象に、誰にとっても使いやすい施設となるよう、具体的な改善点をまとめたものであり、その要旨は次のとおりです。

【サイン表示】

施設によって異なるサイン表示について、障害者団体等、関係者の意見を聞くなどした上で、統一した基準を作成し、改修することを提案しています。

【トイレ】

利用者が多いトイレについて、動線を考慮した利用方法を検討することや、古い施設を中心にいまだに多い和式トイレを洋式トイレに改修すること、狭い個室スペースの改善策を講じることなど、６項目を提案しています。

【段差の解消】

福祉施設などで部分的に残っている段差の解消や、対応が進んでいない屋外スポーツ施設の段差の解消などを提案しています。

【その他の各設備】

多機能化に向けたエレベーターの改修や照明のＬＥＤ化など、７項目を提案しています。このうち、「点字や視覚障害者誘導用ブロックの誘導効果を高めること」では、点字の設置方法等に問題があり、視覚障害者が十分に活用できていない現状があることから、視覚障害者の意見を聞きながら、設置場所や設置方法の見直しを行うことを提案しています。

【ソフト面の対応】

職員や施設を管理する指定管理者に、ユニバーサルデザインの考え方を普及啓発することや、各施設の利用方法について、多言語対応のパンフレットを作成することなどを提案しています。

【今後の公共施設の整備】

公共施設の建て替えや大規模改修の際に、ユニバーサルデザインの導入に関する意見を聴取できるよう、高齢者や障害者、外国人など、幅広い関係者で構成する会議体の設置などを提案しています。

以上が提言の要旨ですが、これらの取り組みを効果的に進めるためには、その推進を担う部署が必要となります。当委員会としては、公共施設のみならず、戸田市のあらゆる事業に、ユニバーサルデザインの理念を浸透させるため、その中心を担う部署の設置を要望するものです。

▲１月25日　財務部へ提言書を提出

文教・建設委員会

戸田東小中学校建て替え 小中一貫校の長所を最大限に

文教・建設常任委員会では、年間活動テーマとして「小中一貫教育について」「通学路の安全対策について」の２つをメーンテーマに設定し、先進自治体への視察等による、調査研究を行いました。そして、その結果を執行部に提言するため、「戸田東小中学校における小中一貫校設立についての提言書」「通学路の安全対策についての提言書」を取りまとめました。

◀１月25日　教育委員会へ提言書を提出

戸田東小中学校における小中一貫校設立についての提言書

現在、設計が進められている市内初の小中一貫校である戸田東小中学校に向けて、４項目、合計18件の提案を行いました。主な内容は次のとおりです。

【校舎設計】

教職員の声を十分に反映させること。設計・建設と並行して運営内容や先行事例の検討等を行い、設計に反映することなどを提言しております。

【運営内容】

小中一貫校の長所を最大限引き出す一方、職員の負担増などに配慮すること。先進事例に当たりつつも戸田市の現状に合わせた対応を検討していくことなどを提言しております。

【体制・その他】

責任の所在や指揮命令系統を明確化し、学校全体の統括担当者を定めるよう検討すること。開設後の中長期的な児童生徒数の増減を十分に想定することなどを提言しております。

【今後の展開】

今後の小中学校校舎の建て替えにおいては、早期に現場の教職員や保護者をはじめとする住民の参加を促し、意見を反映することで、ソフト、ハード両面における改善を図ることなどを提言しております。

通学路の安全対策についての提言書

委員各人が学校関係者に対する聴き取りや通学路の実地検証を行い、議論を重ね、通学路の安全に向けて、３項目、合計12件の提案を行いました。主な内容は次のとおりです。

【通学路改善のプロセス】

危険箇所に関する情報収集の強化や、学校関係者や市民等からの意見収集機能の改善を図ること。危険箇所やその改善状況等の公表、情報提供などを行い「見える化」を推進することなどを提言しております。

【交通指導員に関する業務分担の見直し】

交通指導員の配置基準を策定し、各校からの情報に基づいて配置地点の選定を行うこと。ＰＴＡその他交通指導ボランティアの担い手に対し、支援の拡充を図ることなどを提言しております。

【危険箇所の状況等】

当委員会による通学路の実地検証を通して確認された危険箇所を載せ、改善に向けた取り組みを要望しております。

健康福祉委員会

認知症の早期診断、早期対応に向けて

平成29年度は、「認知症施策の推進について」を年間活動テーマに、認知症の早期発見、早期対応に向けた取り組みについての調査研究を行いました。

認知症の方が、一日でも長く住み慣れた地域で生活できるよう、「人材育成」「認知症予防」「ネットワーク」「地域拠点づくり」の観点で検討した認知症施策について取りまとめた提言書の内容は、次のとおりです。

【人材育成（教育）の観点から】

認知症を高齢者・要介護者の課題にとどめることのないよう、子どもたちが認知症を正しく理解するため、認知症について学ぶ講座を小中学校等で提供する取り組みを進めることを提言しています。

認知症への正しい知識を地域に広く啓発する取り組みは、高齢者の課題と捉えられている認知症を、さまざまなまちづくりにつなげていく活動です。

【認知症予防の観点から】

脳が衰えたり、認知機能が低下したりすると、認知症の発症リスクは高まります。認知症の発症を予防し、発症後の症状悪化を遅らせるためには、脳を働かせ、脳の血流を良くすることが大切であることから、脳トレーニング等の認知症の発症を予防するための取り組みを進めることを提言しています。

地域拠点、地域コミュニティづくりにもつながる活動です。

【ネットワーク（連携強化）の観点から】

認知症の方が行方不明になったときには、捜索情報をメール等で関係者に伝達する仕組みが効果的であることから、そうした仕組みの構築を提言しています。

また、関係者に伝達された捜索情報が、より効力あるものとなるよう、行方不明の認知症の方に該当すると思われる方を見かけたときに、声かけする模擬訓練の実施も提言しています。

警察や各関係機関等の捜索協力者間における確実かつ速やかな情報伝達、ネットワークの強化は、大切な取り組みです。

【地域拠点づくりの観点から】

認知症カフェは、認知症の方や家族、支援者、地域住民などが気軽に集まって交流や情報交換する場所です。

しかし、市内の特別養護老人ホームで開催された認知症カフェの視察では、施設の滞在者と従事者以外の地域住民の参加が見られませんでした。

そうした現状を改善するには、気軽に立ち寄れる環境や雰囲気づくりが必要と考え、民間のカフェ店舗を活用した認知症カフェを出張開催することを提言しています。

出張認知症カフェは、幅広い世代の地域住民の気軽な参加が期待できる取り組みです。

▶1月25日　福祉部へ提言書を提出

平成 30 年常任委員会名簿

	委員会名	委員長	副委員長	委員				
常任委員会	総務	竹内	矢澤	佐藤	本田	峯岸	榎本	
	文教・建設	馬場	石川	林	むとう	金野	熊木	伊東
	健康福祉	遠藤	高橋	浅生	細田	花井	手塚	山崎
	市民生活	三輪	十川	斎藤	土屋	酒井	三浦	

市民生活委員会

地域や警察と取り組む防犯カメラ事業に向けて

「安心・安全に向けた防犯体制のあり方について」を年間活動テーマとし、防犯カメラに重点を置いて調査研究を進めてきました。

先進地への視察等を実施し、協議した結果、「防犯カメラ事業についての提言書」を作成し、執行部へ提出しました。

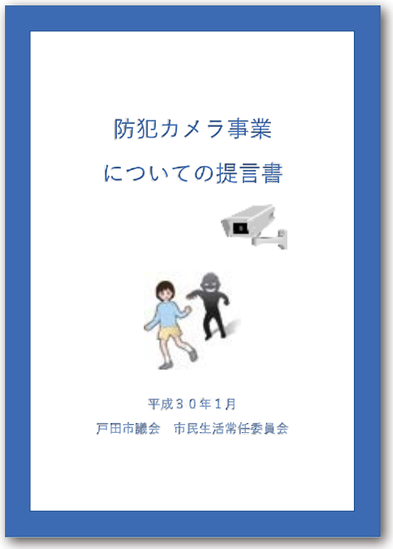
▶1月25日　市民生活部へ提言書を提出

【電気料金の補助】

町会・自治会にとって、電気料金をはじめとするランニングコスト等は大きな負担となることから、運用に伴う電気料金を補助することを提言しています。

【防犯カメラ導入後の効果検証と見直し】

今後、防犯カメラの設置範囲を広げた場合、町会・自治会による管理を継続することは大変厳しい状況にあることから、各町会の管理状況や効果を検証するためのアンケート等を実施するとともに、協議会等で情報収集や効率的な運用の共有化を進め、短期間での効果検証と見直しを行うことを提言しています。



【リース契約（保守込み）への切り替え】

防犯カメラ設置拡大の際に保守込みのリース契約へ切り替えを行うこと、町会・自治会が管理する防犯カメラも更新時期にリース契約へ変更すること、最終的には、全ての防犯カメラを保守込みのリース契約に変更し、一括した管理や更新を行えるようにすることを提言しています。

【協議会による連携体制】

各町会によって管理体制や積極性等に偏りが見受けられ、今後、地域偏在等の課題へつながる恐れがあること、また、先進自治体では、町会をはじめとする市民や行政、警察等を含めた協議会を設立することにより、町会等が警察からの助言を受け、効果的な防犯カメラの設置ができるほかに、協議会全体での啓発活動を行えるなど、地域協働による事業を展開していることから、本市においても、協力体制の構築や情報共有等を図り、地域偏在の解消を進めるため、学校や警察等との協議会の設立を提言しています。

【無線式機器の採用と警察との画像提供協定締結】

警察への画像提供の際の立ち会い作業が管理者の負担となっていること、また、無線機器の防犯カメラを採用している自治体では、防犯カメラのデータ管理等についての協定を警察と締結し、市職員が同行することなく、画像提供が行える体制を構築し、緊急時への対応や捜査の迅速化に寄与していることから、本市においても、今後、事業拡大に当たり、無線機器の防犯カメラを採用すること及び警察との協定を締結することを提言しています。

【周知・啓発看板や垂れ幕の設置】

地域住民への周知・啓発が重要であることから、防犯カメラ設置箇所への掲示のほか、地域や路線においても周知・啓発看板や垂れ幕の設置等を進めることを提言しています。

30年度 任期2年目のテーマは?

- **総務委員会**　・市役所業務におけるＩＣＴ化について
- **文教・建設委員会**　・小中学校の改築等施設整備について／・コミュニティ・スクールについて
- **健康福祉委員会**　・共生社会の実現に向けた子育て支援施策について
- **市民生活委員会**　・自転車のまちづくりについて／・保養所のあり方について

議会日誌

1月

9日　議会モニターとの意見交換会
11日　市民生活委員会／沖縄県宜野湾市議会視察来庁
12日　議会広報委員会／
　　常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉）
15日　一区議長会議員研修会
17日　県南都市問題協議会研究部会視察
　　（都市計画・交通問題／環境問題）
18日　議会改革特別委員会
19日　議会広報委員会／議員研修会
22日・23日　戸田競艇企業団議会常任委員会視察
25日　総務委員会／議会広報委員会／議会運営委員会／
　　常任委員会（文教・建設／健康福祉／市民生活）

2月

1日・2日　本会議（各種選挙）
6日　本会議（施政方針、議案説明）
7日　本会議（議案説明）
8日　戸田競艇企業団議会議会運営委員会／
　　県市議会議長会議員行政研修会
9日　蕨戸田衛生センター組合議会議会運営委員会
13日　戸田競艇企業団議会
14日　蕨戸田衛生センター組合議会
16日　本会議（総括質問）／委員長会議
19日　本会議（議案質疑）／議会広報委員会
20日　本会議（一般質問）／議会運営委員会
21日　本会議（一般質問）
22日　本会議（一般質問）／議員互助会役員会
23日　本会議（一般質問）／議会運営委員会／
　　議会モニター委嘱状交付式
26日～28日　常任委員会
　　（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）

3月

1日　常任委員会（総務／健康福祉）
2日　特別委員会（まちづくり・交通対策／議会改革／議会広報）
　　／議会運営委員会
9日　蕨戸田衛生センター組合議会
12日　本会議（委員長報告、討論、採決）／健康福祉委員会／
　　議会広報委員会／議会運営委員会
13日　戸田競艇企業団議会
18日～25日　戸田市長選挙
27日　福島県郡山市議会視察来庁
28日　福島県会津若松市議会視察来庁

題字を書いてくれた人

この「とだ」を書くときには、堂々とした勢いのある戸田をイメージしました。
楽しく書けたので、よい経験になりました

芦原小学校　6年　井深（いぶか）　未彩（みさ）さん

6月定例会の予定

※ 日程は変更になる場合があります。

5月23日（水）　本会議（定例会開会、所信表明）
　31日（木）　本会議（議案説明）
6月　7日（木）　本会議（総括質問）
　8日（金）　本会議（質疑、請願の提出、委員会付託）
　11日（月）
　12日（火）
　13日（水）
　14日（木）　本会議（一般質問）
　15日（金）　常任委員会
　18日（月）　特別委員会
　25日（月）　本会議（委員長報告、討論・採決、閉会）

気軽に市役所へ傍聴においでください。

▲「編集方針を決めて頑張ります。」議会広報委員会のメンバー

ほっとコーナー

毎年楽しみにしている高校野球の季節。今年の春は第90回記念選抜大会、夏は第100回記念大会であり、球児たちが、春は紫紺の優勝旗を、夏は深紅の大優勝旗を目指し、はつらつとしたプレーで多くの人たちに「夢と希望と感動」を。（E）

平昌オリンピック・パラリンピックが終わり、選手たちの活躍は感動的でした。6月からはW杯サッカーロシア大会が始まります。選手たちの頑張りに勇気づけられます。議員2年目、私も負けていられません。（佐）

毎年、目標を決めて新しい事にチャレンジ。昨年は通信教育の大学に入学。今年は「健康第一」と、週1でスポーツジムに。筋肉の使い方や体の癖などもトレーナーに教わり、新たな自分を発見する良い機会となりました。若き日の身体にどこまで近づけるか。楽しみながら頑張ります。（竹）

市議となってから、2度目の桜の季節となりました。この1年間、議会や委員会での質疑をはじめ、視察や講習会での調査研究、さまざまな行事への参加、レガッタやソフトボールなど、初めてのことばかり。日々、勉強の毎日です。（青）

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。

戸田市
発行・戸田市議会　編集・議会広報委員会
TEL・048-441-1800（代）FAX・048-433-2212
〒335-8588　戸田市上戸田1丁目18番1号
メール　gikaijimu@city.toda.saitama.jp
ホームページ　http://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/
表紙写真撮影：林　冬彦 議員